

# 猪之鼻奨学会

編集発行者

公益財団法人  
猪之鼻奨学会

千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号  
〒260-8670 千葉大学医学部内  
電話 043-226-2509 内線 5024

創 立 1915年(大正4年)

猪之鼻奨学会報 第 21 号 題字 井出源四郎 (第八代千葉大学学長)

## 栄誉の高額猪之鼻助成金を創設する？

千葉大学大学院医学研究院  
元准教授 門 田 朋 子

本年1月下旬、猪之鼻奨学会代表の鈴木信夫先生から突然のお手紙を頂いた。その趣旨は当然のことながら同奨学会への寄付のお願いである。それに続けて同会報に一文を寄稿せよとある。こちらは思いがけぬ難問である。一晩考えてみるに助成金制度について私にはかねて思っている事があることに気づいた。それは数名の若手研究者を対象とする小額バラマキ型の助成金(研究費)でなく、欧米の大学によく見られるようなある程度まとまった額の助成金を優秀な卒業生1-2名に贈与する形のものである。しかしこのような助成金の実施・継続には当然かなり大きな原資を必要とするため、本学ではこれまで実施されてこなかったようである。現在は本学関係者からの寄付による年間150万円の基金を5名に分割授与しているが、これは研究をスタートさせるに際してはあまりにも少額で悲しい。今回提案したい助成金は少なくとも百万円単位の研究費である。これの実施にはこれまでの寄付金プラ

スAの資金提供が必要である。そのスタートを私が3年間引き受けさせて頂き(百万円×3年間)、その後継は同窓の先生方においてお願い出来ないであろうか。幸い同窓の方々には医師として活躍の方が多い故、善意による助成金基金への個人への寄付のお願いも可能ではないだろうか？ そのようなご好意に報いるためには、今流にその都度の寄付者の名前を冠した×××助成金などと呼称する事などもよい手法かもしれない。

近年の国内の助成金制度についてみれば、大阪大学など幾つか大学では若手研究者を対象としてかなり高額な助成金(研究費)を供与する制度をとっている。聞いてみると、本学医学部でも思い切った高額研究費制度を取り入れて、研究生生活をスタートしたばかりの若手研究者に夢と希望を与え、独創的研究を輩出する大学のひとつとなって頂きたいものである。

## 薬学における創薬科学研究

千葉大学大学院薬学研究院  
准教授 高 屋 明 子

猪之鼻奨学会は医学及び薬学の研究を奨励することを目的に、1915年の創設から100年の長きにわたって支援を続けられています。現在、研究を続ける為の競争的研究費の獲得は極めて深刻な問題です。猪之鼻奨学会から研究奨励金をいただいたことを感謝している医療・薬学関係者はたくさんおり、私もその一人です。奨励金は、財団の活動をご理解いただいた支援者からの善意の寄付金であり、支援者の皆様に深く感謝申し上げます。

日本学術会議資料に、「薬学は、人体に働きその機能の調節などを介して疾病の治療、健康の増進をもたらす医薬品の創製、生産、適正な使用を目標とする総合科学であり、医学が直接人を対象とするのに対して、薬という物質を通じて医療に貢献する」とあります。つまり、創薬科学は薬学の根幹となります。従って、薬学における創薬科学研究の発展と研究者育成は重大な使命です。今日、創薬の研究基盤となる基礎科学研究の発展と医療と創薬科学をつなぐ臨床・医療薬学の研究の融合が求められており、医学などとの融合的な研究体制の構築が必要とされています。千葉大学では未来医療教育研究機構が設置され、他分野と融合した研究が積極的に進められています。

私自身は研究を始めた頃、限られた領域の研究ばかりに目がいき、発展性を視野に入れることが困難でした。しかしながら、その時のアイデアを申請書にし、助成金を得られたときは大変な喜びで、研究へのモチベーションを掻き立ててくれます。数年がたちますが、その時の成果を基にした研究は幸いにも継続でき、他分野の研究者との共同研究も形になってきました。又、発展と応用を含めたプランをようやく考えられるようになってきたと思います。研究には時間がかかりますが、若手研究者のアイデアは未来の医療の発展につながります。研究者が育成・活躍できるよう、多くの方に猪之鼻奨学会の活動をご理解いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ご寄付のお願いと寄付金の税額控除のお知らせ

猪之鼻奨学会は、大正4年(1915年)に創立されて以来、多くの方々からの善意の寄付金により奨学・助成事業を実施しております。

平成24年4月1日「公益財団法人」として、新たにスタートした猪之鼻奨学会は、「定款」に謳いますよう、医学及び薬学の研究を奨励することを目的として、研究業績の優秀な者に研究費の助成、そして学資の欠乏を告げた学生に学資の貸与を行ないます。これらの事業を遂行するために、どうか皆さまのご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

一口5,000円ですが、ご都合により何口でも結構です。

同封の郵便振替用紙にてお振込み下さい。

なお、「特定公益増進法人化にともなう寄付金の税額控除」に関しては、公益財団法人へ移行したことにより、本会が税制上の優遇措置の対象となる特定公益増進法人となりました。従って、個人によるご寄付の場合、所得の40%を上限として、ご寄付金額から2千円を差し引いた金額が、その年の課税所得から控除されます。法人によるご寄付の場合、一般の寄付金とは別枠で、特別損金算入限度額まで、損金の額に算入することが認められます。

今後とも、皆様方の一層のご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人猪之鼻奨学会 理事・評議員一同

## 平成28年度 公益財団法人猪之鼻奨学会事業報告

自平成28年4月1日 至平成29年3月31日

## 1. 事業の状況

(1) 研究助成金(150万円)の助成 内訳 各30万円 5件

氏名	所属	研究題目
末永雄介	千葉県がんセンター	CRISPR/CAS9システムによるゲノム編集を用いた小細胞肺癌のがん進展機構の解析
武村直紀	千葉大学医学部 粘膜免疫学	放射線誘導性口腔内粘膜炎の予防・治療標的としての自然炎症の評価解析
五島悠介	千葉大学大学院 医学研究院	去勢抵抗性前立腺癌(CRPC)における癌抑制クラスターマイクロRNAの機能解析と新規治療標的分子探索
松坂恵介	千葉大学大学院 医学研究院	胃癌における分子基盤の解明とEBV感染誘導性エピゲノム改変機構の解析
畠山浩人	千葉大学大学院 薬学研究院	免疫チェックポイント阻害剤の作用機序解明と薬効予測を目的とした抗体医薬の薬物動態解析

(2) 奨学金(90万円)の貸与

1. 東京理科大学薬学部 生命創薬科学科 3年次
2. 千葉大学医学部 3年次

(3) 猪之鼻奨学会会報発行 13,000部

- 医学部 8,000部  
薬学部 5,000部

## 収支内訳書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

公益財団法人猪之鼻奨学会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
1. 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	504,000	504,000	0	
事業収入	0	0	0	
2. 寄付金収入				
寄付金収入	4,974,000	3,628,000	1,346,000	
3. 雑収入				
受取利息	9,125	11,756	-2,631	
4. 基金収入				
特定預金取崩し収入	0	0	0	
当期収入合計	5,487,125	4,143,756	1,343,369	
1. 事業費				
研究助成金	1,500,000	1,500,000	0	
奨学貸費金	900,000	600,000	300,000	
事業費合計	2,400,000	2,100,000	300,000	
2. 管理費				
給料	812,793	764,398	48,395	
旅費・交通費	96,580	89,520	7,060	
手当・謝金	50,000	50,000	0	
事務備品費	35,953	0	35,953	
消耗品費	77,758	57,235	20,523	
印刷費	275,348	160,436	114,912	
交際費	10,627	0	10,627	
賃借料	33,673	33,673	0	
通信運搬費	39,338	26,846	12,492	
会議費	9,044	6,069	2,975	
支払手数料	246,240	278,640	-32,400	
雑費	105,288	100,236	5,052	
ホームページ関連費	43,200	43,200	0	
租税公課	3,750	2,354	1,396	
管理費合計	1,839,592	1,612,607	226,985	
当期支出合計	4,239,592	3,712,607	526,985	

## 貸借対照表

平成29年3月31日現在

公益財団法人猪之鼻奨学会

(単位:円)

科目	当年度	前年度(注)	増減(注)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	2,594	10,446	△7,852
普通預金	409,670	1,352,635	△942,965
流動資産合計	412,264	1,363,081	△950,817
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産有価証券	27,969,200	27,969,200	0
基本財産預金	32,030,800	32,030,800	0
土地	0	0	0
基本財産合計	60,000,000	60,000,000	0
(2) 特定資産			
貸与奨学金	2,100,000	2,000,000	100,000
研究助成基金	13,000,000	10,000,000	3,000,000
特定資産合計	15,100,000	12,000,000	3,100,000
(3) その他固定資産			
その他固定資産	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	7,510,000	72,000,000	310,000
資産合計	75,512,264	73,363,081	2,149,183
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
預り金	0	0	0
賞与引当金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
退職給付引当金	0	0	0
修繕引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	73,531,316	71,209,155	4,974,000
2. 一般正味財産	1,980,948	2,153,926	△2,824,817
正味財産合計	75,512,264	73,363,081	2,149,183
負債及び正味財産合計	75,512,264	73,363,081	2,149,183

公益財団法人

猪之鼻奨学会寄附金結果報告

千葉大学医学部・薬学部同窓会員

および関係者各位

平素より公益財団法人猪之鼻奨学会の事業につきまして、多くの方々の深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

平成28年度に実施されました寄附金は、下記のように、大勢のご賛同とご協力が得られました。ここに報告させていただきます。

ご寄付いただきました金員は、当奨学会の事業費として有効に活用させていただきますと存じます。お蔭様を持ちまして平成28年度における助成件数は5件で、総額150万円の研究助成金を交付、また奨学金を(2名90万円)支給することができました。今後、皆様方の暖かいご支援とご指導をいただきながら当奨学会の発展に理事・評議員共に更なる努力を重ねる所存です。ここに深甚なる謝意を表するとともに、皆様方のご健勝とご発展を祈念申し上げます。

記

募金件数 百四十三件

募金総額 四、九七四、〇〇〇円

平成二十九年五月一日

公益財団法人猪之鼻奨学会

理事・評議員一同

高額寄付者御芳名録

(平成28年度)

(敬称略)

石下峻一郎	埼玉県	千葉大学薬友会	千葉県
小野清四郎	千葉市	時田信博	埼玉県
木下昌	千葉市	中田信一	東京都
木内一郎	千葉市	蜂須賀暁子	東京都
軍司祥雄	千葉市	深尾立	茨城県
小山弘子	茨城県	横井邦一	埼玉県
小南聡志	茨城県	渡辺孝太郎	茨城県
小佐佐久次	群馬県	渡辺幹夫	宮崎県
佐藤兼重	東京都	古川英明	千葉県
田波秀文	千葉県	橋本英明	東京都
七夕の会	東京都		

平成28年度寄附者名簿

赤尾建夫	千葉県
市川智彦	千葉県
石川達雄	千葉県
石鳥秀紀	千葉県
伊藤博	千葉県
今泉絢子	愛知県
泉川ツヤ子	静岡県
宇野一真	静岡県
内田宏子	東京都
黄舜範	東京都
大友一夫	埼玉県
奥村康	千葉県
織田成人	千葉県
小野崎郁史	埼玉県
王子明	千葉県
門脇淳	栃木県
門山周文	東京都
加来俊貞	千葉県
菊池義公	埼玉県
岸本充	千葉県

菊池周一	千葉県
菊池義公	埼玉県
黒木春郎	千葉県
窪田叔子	千葉県
栗原正明	埼玉県
草刈隆	千葉県
郡司宗文	千葉県
小林千鶴子	千葉県
小林芳昌	千葉県
小関弘忠	千葉県
小林弘一	東京都
小宮山伸之	東京都
佐久川輝章	千葉県
三枝一雄	千葉県
島田哲男	千葉県
島崎淳	千葉県
重松秀一	長野県
嶋田俊恒	千葉県
諏訪園靖	千葉県
須藤壮一郎	千葉県

鈴木敏幸	神奈川県
玉井輝章	埼玉県
田島寛之	千葉県
竹本直輝	千葉県
田垣内祐吾	千葉県
田中直子	山梨県
西原尚史	東京都
田中則好	千葉県
村上泰興	千葉県
千原胤道	千葉県
塚原重雄	山梨県
寺島東洋三	千葉県
徳久剛史	千葉県
中山貴裕	静岡県
長尾龍郎	神奈川県
中山大典	宮城県
中嶋弘道	千葉県
中島祥吉	東京都
中谷晴昭	千葉県
中村和郎	千葉県
中川宏治	千葉県
中田正子	京都府
中村宏	千葉県
二村静子	静岡県
野村知弘	千葉県
野口真利	東京都
野溝春子	長野県
長谷川正博	東京都
服部孝道	千葉県
林雅意	千葉県
花輪孝雄	山梨県
橋本光宏	千葉県
萩巢敏子	千葉県
林雅意	千葉県
久田俊和・恵子	長野県
檜垣有徳	東京都

藤塚光慶	千葉県
古木新	千葉県
藤本重義	神奈川県
本間康正	神奈川県
松前元	北海道
丸田哲郎	千葉県
松田ゆたか	東京都
松井宣夫	愛知県
南園義一	山口県
水鳥川俊夫	千葉県
宮田満男	神奈川県
宮原弘次	埼玉県
道永幸治	千葉県
諸岡信裕	茨城県
森川眞一	千葉県
山本博憲	高知県
山田善重	千葉県
安田敏子	千葉県
山崎浩禪	東京都
山里明	埼玉県
山本恵司	千葉県
山本友子	千葉県
吉井功	千葉県
渡辺和夫	千葉県
幸部吉郎	千葉県
前川岩夫	静岡県
武田恒弘	千葉県
遠藤毅	千葉県
木下恒	静岡県
砂田莊一	千葉県
山田通子	東京都
若新政史・洋子	千葉県

平成二十九年三月三十一日現在  
総合計 四、九七四、〇〇〇円

猪之鼻奨学会の歴史資料

本奨学会の長い歴史の証となる貴重な資料の一部をご紹介します。

大正四年拾壹月創立以降

奨学会寄附金領収報告集

千葉醫學専門学校奨学会

Table with columns for names and amounts, titled '奨学会寄附金領収報告集'.

(1)

表紙

Advertisement for 'Chia Artel Mii' (チアアテルミイ) with details on subscription and price.

(3)

Advertisement for 'Chia Artel Mii' (チアアテルミイ) with details on subscription and price.

(2)

編集後記

毎日のように財政的には厳しいニュースが伝えられる一方、東京オリンピックで活躍が期待される10代のアスリートにフォーカスを当てた話題も沢山あります。2020年、それは本学にも大きな変化をもたらします。医学部新校舎と、手術室や救命救急センターなどが設置される病院の新中央診療棟の完成が見込まれているからです。この冬には設計図を幾度となく見て、亥鼻キャンパスの未来構想を頭に浮かべました。さて、教育はハードとソフトが両立して初めて充実します。大学では研究の遂行があってこそ、思慮深く広い視野を持った人材が育成されます。校舎というハード面の充実と共に、研究というソフト面を牽引する資金が必要です。残念なこと、若く研究者のユニークな発想を十分に支援するのは困難な時代です。そのような世知辛い昨今ですが、これからの日本を支える人材のニーズは絶えません。猪之鼻奨学会はこれまで多くの寄付に支えられて来ました。心から感謝申し上げますと同時に、今後も何卒ご支援のほど心よりお願い申し上げます。

(監事 石井伊都子)